



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月1日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ 上場取引所 東
 コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 達彦
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 哲 TEL 03-5114-5810
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,781	△5.1	315	△30.7	319	△29.5	192	△33.2
2019年3月期第2四半期	7,144	1.0	454	44.0	453	47.4	288	54.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	40.96	—
2019年3月期第2四半期	61.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	9,258	5,773	62.4	1,227.73
2019年3月期	9,266	5,676	61.3	1,207.17

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,773百万円 2019年3月期 5,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△6.7	320	△55.4	320	△55.2	160	△55.7	34.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,703,063株	2019年3月期	4,703,063株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	592株	2019年3月期	592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,702,471株	2019年3月期2Q	4,702,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

度重なる台風及び豪雨等の自然災害により被災された方々には、謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

当第2四半期の国内景気は、通商問題を巡る海外経済の動向や地政学的な問題等により輸出を中心に弱さが続いており、企業収益は概ね高い水準で推移していますが、先行きは慎重さがみられるようになりました。一方小売業界では、消費増税に伴う駆け込み需要が一部に見られた反面、相次ぐ自然災害や天候不順が企業業績に影響を及ぼしたほか、人件費を始めとする費用面の上昇等により経営環境は一層厳しい状況になりました。

(直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ直営店販売事業は、スキンケア化粧品の更なる販売力強化に取り組んでおり、当中間期のスキンケア販売比率は前年同期より約4ポイント上昇しました。その反面、冷夏など天候不順の影響で季節限定商品の売上が低迷したことに加え、台風等の自然災害により売上が低下しました。一方出退店につきましては、1店舗を出店しましたが、出店先の閉鎖や不採算店の退店により8店舗を退店したため、期初より7店舗純減し当中間期末店舗数は210店舗となりました。9月下旬から消費増税前の駆け込み需要が見られましたが、店舗数の減少や季節限定商品の低迷により売上高は、前年同期比3.8%減となりました。ただ既存店ベースでみるとスキンケア販売強化を始めとした諸施策の効果も表れ、売上高はほぼ前年同期水準を確保すると共に総客数は微増しました。

ネット通販事業も冷夏の影響で季節限定商品の売上が低迷しましたが、通販限定の販売促進策を拡充すると共に、自社ネット通販においてサイトの改善や会員向け施策の強化に取り組んだ結果、売上高は前年同期比で22.2%増となり、会員数も着実に増加しました。

以上の結果、当事業売上高は51億21百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は1億22百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、期初にスタッフ数が減少し、それと共に売上高が大幅に減少しましたが、その後の採用活動により徐々にスタッフ数は持ち直してきました。しかしながら、この中間期も1店舗を退店したこともあり売上高は前年同期比13.8%減となりました。一方、売上高の3割程度をオンライン予約システムが占める等稼働率が高まり、運営効率の向上と共にサロン認知度の向上や新客獲得に寄与するようになってきました。

カーブス事業は、前期に会員の退会が増加しましたが、今期に入り既存会員に対するフォロー強化や既存会員からの紹介入会に注力した結果、当中間期末会員数は微増となりました。スタッフ数は徐々に充足されつつあり、スタッフ教育も強化していますが、前年同期より延べスタッフ数が減少したため、売上高は前年同期比2.9%減となりました。

以上の結果、当事業売上高は7億1百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は60百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

(卸売販売事業)

店舗向け卸売につきましては、直営店商品販売事業同様に冷夏など天候不順の影響で季節限定商品の売上が低迷しましたが、消費増税前の駆け込み需要も若干みられたことや量販店向け卸売部門の取引先数の増加等により売上高はほぼ前年同期水準を確保しました。一方、その他の卸売については、中国向け越境EC卸売が中国側の規制強化や市況の変化等の影響で前年同期より鈍化したこともあり21.6%減となりました。

以上の結果、当事業売上高は9億58百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は1億32百万円(前年同期比45.9%減)となりました。

以上、当第2四半期累計期間における全社売上高は67億81百万円(前年同期比5.1%減)となりました。諸経費の削減効果等により販売管理費が前年同期より低減しましたが、営業利益は3億15百万円(前年同期比30.7%減)、経常利益は3億19百万円(前年同期比29.5%減)、四半期純利益は1億92百万円(前年同期比33.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より7百万円減少し、92億58百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より43百万円増加し、53億27百万円となりました。これは主に商品及び製品が4億57百万円増加し、現金及び預金が3億88百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より50百万円減少し、39億31百万円となりました。これは主に無形固定資産が30百万円、投資その他の資産(その他)が23百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より1億4百万円減少し、34億85百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億38百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より96百万円増加し、57億73百万円となりました。これは主に利益剰余金が98百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想に関しては、2019年11月1日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,399,654	2,011,331
売掛金	1,042,014	1,030,668
商品及び製品	1,817,609	2,275,515
その他	25,383	10,252
貸倒引当金	△416	△412
流動資産合計	5,284,244	5,327,356
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,093	369,760
土地	1,369,668	1,369,668
リース資産(純額)	146,754	167,376
有形固定資産合計	1,892,516	1,906,806
無形固定資産		
投資その他の資産	242,817	212,236
差入保証金	605,038	594,455
その他	1,241,681	1,217,787
貸倒引当金	△124	—
投資その他の資産合計	1,846,594	1,812,242
固定資産合計	3,981,928	3,931,285
資産合計	9,266,172	9,258,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471,275	332,490
電子記録債務	542,274	767,025
未払法人税等	208,935	131,285
賞与引当金	192,615	193,778
その他	641,203	562,614
流動負債合計	2,056,303	1,987,193
固定負債		
退職給付引当金	1,129,627	1,119,437
役員退職慰労引当金	66,964	71,454
資産除去債務	10,838	10,285
その他	325,746	296,890
固定負債合計	1,533,176	1,498,067
負債合計	3,589,479	3,485,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,338,074	4,436,656
自己株式	△655	△655
株主資本合計	6,554,322	6,652,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,304	91,410
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△877,629	△879,523
純資産合計	5,676,692	5,773,381
負債純資産合計	9,266,172	9,258,642

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,144,490	6,781,501
売上原価	2,052,602	1,954,649
売上総利益	5,091,888	4,826,852
販売費及び一般管理費	4,637,011	4,511,598
営業利益	454,877	315,254
営業外収益		
受取利息	741	741
受取配当金	2,610	1,985
不動産賃貸料	388	583
その他	2,487	4,820
営業外収益合計	6,227	8,130
営業外費用		
支払利息	2,901	3,314
リース解約損	4,437	—
不動産賃貸原価	239	243
営業外費用合計	7,577	3,557
経常利益	453,527	319,826
税引前四半期純利益	453,527	319,826
法人税、住民税及び事業税	152,942	101,108
法人税等調整額	12,130	26,086
法人税等合計	165,073	127,195
四半期純利益	288,454	192,631

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。